



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月30日

上場会社名 株式会社 東海理化電機製作所
 コード番号 6995 URL <http://www.tokai-rika.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 牛山 雄造
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 籠橋 榮治
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月31日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名

TEL 0587-95-5211

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	106,971	16.9	8,065	42.7	8,321	57.3	4,818	30.8
25年3月期第1四半期	91,491	62.5	5,650	—	5,288	—	3,685	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 7,822百万円 (542.9%) 25年3月期第1四半期 1,216百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	53.33	53.27
25年3月期第1四半期	40.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	311,695	189,900	57.7
25年3月期	308,039	183,875	56.5

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 179,883百万円 25年3月期 174,050百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	14.00	—	18.00	32.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	211,000	16.6	13,500	18.3	15,000	28.2	9,000	—	99.60
通期	424,000	14.0	26,000	11.9	28,000	14.3	16,500	218.1	182.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P.3「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	94,234,171 株	25年3月期	94,234,171 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	3,852,617 株	25年3月期	3,915,623 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	90,351,487 株	25年3月期1Q	90,313,800 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1.平成25年4月25日に公表した連結業績予想は、当第1四半期連結会計期間において、第2四半期連結累計期間、通期ともに修正しております。詳細につきましては、本日開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
- 2.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第1四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書 第1四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、欧州では緊縮財政や雇用・所得環境の悪化による低迷が続き、また新興国の一部では成長の鈍化があるものの、日本、米国では景気の回復が継続し、世界全体では、底堅く推移しました。

自動車業界におきましては、日本、欧州での販売台数は前年同期を下回りました。一方、中国、ブラジルなどの新興国での販売台数は堅調に推移し、米国での販売台数も前年同期を上回りました。世界全体では、前年同期を若干上回りました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は106,971百万円と、前年同四半期に比べ15,480百万円(16.9%)の増収となり、利益につきましては、連結営業利益は8,065百万円と、前年同四半期に比べ2,415百万円(42.7%)、連結経常利益は8,321百万円と、前年同四半期に比べ3,033百万円(57.3%)、連結四半期純利益は4,818百万円と、前年同四半期に比べ1,133百万円(30.8%)それぞれ増益となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

(日本)

円安による売上高の増加や前第3四半期連結会計期間より連結子会社が増加した影響などにより、売上高は70,721百万円と、前年同四半期に比べ7,152百万円(11.3%)の増収となりました。営業利益は、円安の影響や合理化等に積極的に取り組んだことにより5,974百万円と、前年同四半期に比べ2,076百万円(53.3%)の増益となりました。

(北米)

客先生産台数の増加や円安による為替換算上の影響などにより、売上高は22,887百万円と、前年同四半期に比べ5,629百万円(32.6%)の増収となりました。営業利益は、売上高の増加などにより1,067百万円と、前年同四半期に比べ384百万円(56.1%)の増益となりました。

(アジア)

円安による為替換算上の影響などにより、売上高は22,392百万円と、前年同四半期に比べ4,770百万円(27.1%)の増収となりました。営業利益は、売上高の増加などにより1,894百万円と、前年同四半期に比べ269百万円(16.6%)の増益となりました。

(その他)

客先生産台数の増加や円安による為替換算上の影響などにより、売上高は5,997百万円と、前年同四半期に比べ2,087百万円(53.4%)の増収となりました。営業利益は、売上高の増加などにより195百万円(前年同四半期は営業損失61百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産は311,695百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,656百万円増加いたしました。

これは、主に現金及び預金や有形固定資産の増加によるものであります。

(負債)

負債は121,794百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,370百万円減少いたしました。

これは、主に未払法人税等の減少によるものであります。

(純資産)

純資産は189,900百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,025百万円増加いたしました。

これは、主に四半期純利益の計上による利益剰余金の増加や為替換算調整勘定の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の世界経済につきましては、欧州では景気の低迷が続く懸念があるものの、日本、米国では回復基調を維持し、また中国、インド、ブラジルなどでは緩やかな成長が見込まれます。世界全体では、底堅く推移するものと予測されます。

自動車業界におきましては、日本ではエコカー補助金終了による反動減、欧州では個人消費の不振が続き、販売台数が低迷すると思われます。一方、中国、ブラジルなどの新興国での販売台数は堅調に推移し、米国での販売台数も前年を上回ることが見込まれます。そのため、世界全体での販売環境は、引き続き緩やかな成長が見込まれます。

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成25年4月25日決算発表時の公表値を修正しております。詳細につきましては、本日開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,143	29,607
受取手形及び売掛金	50,658	52,284
電子記録債権	10,674	11,316
有価証券	47,089	39,898
商品及び製品	8,223	8,147
仕掛品	13,950	13,278
原材料及び貯蔵品	4,669	4,709
その他	16,241	18,515
貸倒引当金	△66	△70
流動資産合計	178,585	177,686
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,075	28,000
機械装置及び運搬具（純額）	22,189	23,546
その他（純額）	33,014	33,532
有形固定資産合計	82,279	85,079
無形固定資産		
投資その他の資産	1,617	1,598
投資有価証券	30,877	32,912
その他	14,805	14,545
貸倒引当金	△125	△126
投資その他の資産合計	45,557	47,331
固定資産合計	129,454	134,009
資産合計	308,039	311,695

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	52,575	42,463
電子記録債務	—	11,409
短期借入金	5,640	5,125
1年内返済予定の長期借入金	226	5,258
未払法人税等	4,914	3,264
賞与引当金	6,267	3,349
製品保証引当金	2,193	2,195
その他の引当金	301	73
その他	27,555	29,231
流動負債合計	99,674	102,372
固定負債		
長期借入金	5,755	673
退職給付引当金	17,343	17,350
その他の引当金	587	425
資産除去債務	67	67
その他	735	905
固定負債合計	24,489	19,422
負債合計	124,164	121,794
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,856	22,856
資本剰余金	25,135	25,153
利益剰余金	133,479	136,672
自己株式	△7,039	△6,926
株主資本合計	174,431	177,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,865	2,981
為替換算調整勘定	△2,246	△854
その他の包括利益累計額合計	△381	2,127
新株予約権	642	625
少数株主持分	9,182	9,392
純資産合計	183,875	189,900
負債純資産合計	308,039	311,695

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	91,491	106,971
売上原価	79,119	91,179
売上総利益	12,372	15,791
販売費及び一般管理費	6,721	7,726
営業利益	5,650	8,065
営業外収益		
受取利息	122	117
受取配当金	83	122
持分法による投資利益	22	28
その他	91	139
営業外収益合計	319	408
営業外費用		
支払利息	76	49
為替差損	582	68
その他	22	34
営業外費用合計	681	152
経常利益	5,288	8,321
特別利益		
新株予約権戻入益	28	11
負ののれん発生益	—	290
特別利益合計	28	302
特別損失		
投資有価証券評価損	—	7
特別損失合計	—	7
税金等調整前四半期純利益	5,316	8,615
法人税等	1,510	3,500
少数株主損益調整前四半期純利益	3,806	5,115
少数株主利益	121	297
四半期純利益	3,685	4,818

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,806	5,115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△231	1,163
為替換算調整勘定	△2,537	1,483
持分法適用会社に対する持分相当額	179	59
その他の包括利益合計	△2,589	2,706
四半期包括利益	1,216	7,822
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,221	7,327
少数株主に係る四半期包括利益	△4	495

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	北米	アジア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	54,105	17,225	16,301	87,632	3,859	91,491	—	91,491
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,464	33	1,321	10,819	51	10,870	△10,870	—
計	63,569	17,258	17,622	98,451	3,910	102,361	△10,870	91,491
セグメント利益又は セグメント損失(△)	3,898	683	1,625	6,207	△61	6,146	△495	5,650

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州及び南米の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△495百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	北米	アジア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	57,637	22,850	20,561	101,050	5,920	106,971	—	106,971
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,083	36	1,830	14,950	76	15,026	△15,026	—
計	70,721	22,887	22,392	116,000	5,997	121,997	△15,026	106,971
セグメント利益	5,974	1,067	1,894	8,936	195	9,131	△1,066	8,065

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州及び南米の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,066百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

日本セグメントにおいて、連結子会社の自己株式取得により、当第1四半期連結累計期間において、負ののれん発生益290百万円を計上しております。

なお、負ののれん発生益は特別利益のため、セグメント利益には含めておりません。